

2021

春



NEWSLETTER

宮崎市国際交流協会 

■ 編集・発行

宮崎市国際交流協会

〒880-8505

宮崎市橘通西1丁目1番1号

宮崎市役所本庁舎1階

TEL 0985-21-1719

FAX 0985-21-1733

Facebook

<https://www.facebook.com/miyazaki.mica>

韓国の外国人労働者 2-3

中国料理教室を開催しました! 4

今後のお知らせ 4

編集後記 4

宮崎市国際交流協会の
Facebookはこちら⇒



この写真は、中国家庭料理「陽春麵」です。作り方は動画で配信中! QRコードを読みこんでご覧ください。



韓国外国人労働者

2004年、条件を満たせば外国人を労働者として雇用できる「雇用許可制」が導入されました。1人2回まで申請可能で、最長9年8か月間韓国にて就労することができます。

今回の特集では、韓国で働いている3名の外国人労働者に、オンラインでインタビューを行った内容をお伝えします！お隣韓国の制度をみながら、宮崎でも今後増えていくと思われる外国人労働者のことを共に考えてみませんか？

ウィリアム・パルマ牧師（フィリピン出身・オンヌリ教会Mセンター）

ソウル郊外、外国人集住地区である安山市にはMセンターと呼ばれる施設があります。日曜日、この建物には様々な国から来た人たちが集まり礼拝をするなど教会としての役割を果たしていますが、平日は医療サービスや法律相談を無料で提供し、外国人や多文化家族の人たちを支えています。このMセンターにあるフィリピン人コミュニティの牧師を務めるのがウィリアムさんです。ヨンピョン市にある神学校で学問に励みつつ、週末になると3時間かけてMセンターに来ます。今回の特集記事はウィリアムさんのお陰で実現しました。



Mセンターには毎週色々な国の人が集まってきます。その人たちのために戸建ての賃貸住宅も用意されていて、同じ国の仲間たちで集い、週末共に寝泊まりし、母国の食事を楽しむ憩いの場となっています。フィリピン人コミュニティにも一軒家があり、韓国人ビジネスマンや韓国で働くフィリピン人から金銭的なサポートを受けながら運営されています。私は韓国での生活が楽しいですが、そうでない人たちがいることも知っています。母国から離れてがんばっている人たちが、週末、心から休めるところを提供することが私の願いです。海外で働くフィリピン人達は、みな家族のために一生懸命働いています。親族への送金が遅れた時に心無い言葉を言われて悲しんでいる人や、職場でつらい思いをしている人たちと週末を一緒に過ごし、相談にのったりアドバイスをするのが私の仕事です。



京畿道安山市にあるMセンターの前にて。安山市には9万人を越す外国人が住んでいる。

クン・タイさん Khun Thai

出身国：カンボジア・シアヌークビル 韓国滞在歴：4年8か月 仕事内容：スチール工場

あと1か月で国に帰る予定です。韓国に来た理由は、仕事の経験を積みながらお金を稼げるからです。韓国で4年8か月働いたのですが、その経験を生かして、帰国後は、いつか自分の事業を立ち上げることが夢です。韓国での仕事は、とてもいいキャリアになりました。

私は、大学の時に韓国語を専攻しました。カンボジアでは、今韓国語が大人気です。2005年くらいから韓国で働きたい人が急が増え、韓国語を勉強する人が増えました。私も高校生の時に韓国語を勉強し始めました。因みに、カンボジアでは、韓国語の試験に合格したら韓国で働けるビザがもらえるということを知っています。今も試験を受けている人がまだまだいます。

韓国に来る前、韓国のドラマや映画をたくさん見ました。また、大学を卒業した後は、2年間韓国語の通訳者として仕事をしたため、カンボジアに住んでいる韓国人たちとも交流がありました。そして今も、韓国人の友達がたくさんいます。韓国に来る前の韓国のイメージは、カンボジアとは考え方や働き方が違うという事と、仕事をたくさんする国だということです。

自分のいる工場は大きくて、カンボジア人が20人程います。他にはベトナム人が2名、中国人が1名、そしてネパール人が1名います。1日12時間ほど働いていましたが、最近韓国の法律が変わり、1週間に働ける上限が52時間となりました。最近はコロナの影響で自由に外出が出来なくなり、友人たちには自由に会えませんが、寒くて出歩くのも大変なので調度良いです。仕事に行って、ご飯を食べて、寝ています。

キムチチゲが一番好きで、毎日食べても飽きません。カンボジアではキムチがないので、自分で作れるように作り方を学んでいるところです。帰国したら、もう一度韓国に来る予定です。



ゲックさん Gek

出身国：タイ・チャイブーム県 韓国滞在歴：4年 仕事内容：歯科・美容整形外科にて営業



チェンマイのホテルで受付として働いていましたが、給料が十分でなかったため韓国に来ました。離婚して経済的に困窮しており、ビザを受け取るまでの生活を切り盛りすることすらできなかったため、急いで入国して働いています。今、両親と息子、そして甥っ子のために仕送りをしています。

私の仕事は、韓国にいるタイ人を対象に歯科・美容整形外科の施術の案内や、化粧品の販売をする仕事です。コロナの感染拡大を受けて、なかなかみんなクリニックに来ることができないので残念です。雇用主は良い方だと思います。私は韓国語があまりできないのですが、クリニックには通訳の人がいるので、その人を通してコミュニケーションをとっています。

韓国はお給料が良いです。そして、食べ物も本当においしいです。韓国人は一生懸命働くので、あと2~3年いっしょに働きたいと思います。



アンジェロさん Mark Angelo Alarcon

出身国：フィリピン・カヴィテ州 韓国滞在歴：3年8か月 仕事内容：車の部品の組み立て

韓国に来た理由は、母国より給料が断然高いからです。ある日、友人が「韓国に行くのとひと月で1,200ドル稼げるよ」教えてくれました。最初は冗談かと思いましたが、本当だと分かった時に韓国行きを決めました。実は日本に行こうかと思った時もありましたが、日本に行くにはお金がかかるので止めました。韓国に行くことを決めてからは、韓国語を自分で勉強したり韓国語学校に通ったりしました。韓国語の試験に合格した後は、韓国に渡航するまで、語学学校で韓国語を教えて生計を立てました。

韓国ドラマが好きでよく見ていたので、そのイメージを持って韓国に来ました。実際に来てみると全てドラマの通りではありませんが、施設が豊富で交通の便も良く、自然も街並みも綺麗です。韓国での生活で満足している点は安定した収入があることです。治安も良く、クリスチャンとしても生きやすい環境だと思います。ただ、大変なことはホームシックです。フィリピンの家族に会いたいです。そして母国の食べ物が恋しいです。それでも帰らないのは、フィリピンの家族を経済的に支えないといけないからです。両親と兄弟たちのために韓国で働いて仕送りをしていますが、同じような給料がフィリピンでもらえるなら、帰ります。フィリピンを出たのも、家族が生き残るための決断です。

前の職場で体調を崩したので、その上司に職場を変えたいと申し出ました。でも、上司の許可を得られず、政府の労働相談窓口に行きました。韓国では、外国人労働者が母国語で相談できる窓口があります。そこで次の職場の候補をいくつかもらい、今の職場に来ました。今の雇用先はとても良いです。

週末には教会に行きます。韓国での生活は簡単ではないですが、教会のおかげというよりも、本当に神様のおかげでここまで乗り越えることができたと思います。今は、Mセンター（※2ページ参照）のフィリピン人のシェルターに住み、その家賃を払いながら、韓国に住む他のフィリピン人を助けています。

今のビザの期限が切れたら、一旦フィリピンに帰国して、もう一度この制度を利用して韓国に来ます。家族のために、可能な限り韓国に滞在し、働こうと思っています。





宮崎産の農産物を利用した中国料理教室を開催しました

コロナ対策として新しい生活様式を取り入れ、料理教室を開催しました。「みやざき中央農産物ファン拡大事業」の一環としてJA宮崎さんからいただいたヤマイキ黒皮かぼちゃを使い、かぼちゃ蒸しパン&かぼちゃもちを作りました！とても美味しかったです～😊



ONLINEの講座&イベントをします！

■オンライン国際理解出前講座

12月に予定していた「みやざき国際村」は、コロナの感染拡大を受け、残念ながらキャンセルとなりました。そこで、今回のイベントのために準備して下さっていた各国紹介の内容を、来月3月8日(月)、宮崎市立東大宮中学校の3年生を対象にオンラインで行うこととなりました！

講座の様子は、後日Facebook等にて報告させていただきます。

■オンライン韓国料理教室

3月13日(土)、韓国料理のオンライン講座を開催します。メニューはフライドチキン&ヤンニョムチキンです。近年、韓国のチキンメニューは人気を集めています。お時間の合方はぜひご参加ください～。



■オンラインチャット

韓国語&英語

オンライン会議アプリを利用して、韓国に住んでいる日本語学習者や、宮崎&海外に住んでいる英語話者の方とチャットをするイベントを企画しています！

詳しくはチラシまたはFacebookをご覧ください。



今後のお知らせ	日程	講座名・会場	備考
	①毎週金曜日 18:30～ ②基本第1・第3日曜日 9:00～ ③基本第2・第4日曜日 9:30～	①みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ②みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ③佐土原みんなで日本語会 佐土原総合文化センター	参加者・ボランティア 随時募集中
	3/13(土) 10:30～	オンライン韓国料理教室「ヤンニョム チキン」	定員になり次第締切
	3/29(月)、4/23(金)、5/29(土)	オンライン 英語チャット	定員になり次第締切
	4/10(土)、4/24(土)	オンライン 韓国チャット	定員になり次第締切
	4/8(木)から 木曜日 全6回	中国語教室(初級) 宮崎市民プラザ4階	締切は前日まで
4/21(水)から 毎週水曜日 全6回	韓国語教室(初中級) 宮崎市民プラザ4階	締切は前日まで	

↑※新型コロナウイルス感染拡大等の影響で予告なく変更・中止になる場合があります。予めご了承ください。

編集後記



憂鬱なニュースが多い今頃ですが、心温まる話を紹介します。ある新聞記者は取材のため待機中、大雪が降っている広場を見つめながら、ある二人の行動に思わずシャッターを押し続けました。その光景とは、ある紳士が着ているコートや手袋を脱ぎ、現金と一緒にホームレスの人に渡してそのまま去っていく姿でした。それを受け取ったホームレスの人に話を聞くと、あまりにも寒くて目の前を通った紳士にコーヒーを一杯買ってほしいと頼んだところ、ここまでしてもらったという事でした。雪が降っても温かい冬。自分なら紳士のようにできたか考えさせられます。

ウィリアムさんと話しながら、かなり昔韓国に住んでいた時に、クリスチャンの先生に無料で歯の治療をしてもらったことを思い出しました。その先生は、時々ボランティアで外国人労働者の治療をしていました。安山市にあるMセンターは外国人の心の拠り所ですが、心だけでなく、現実的な問題の解決もサポートしています。宮崎市国際交流協会も、これからは色々な分野の方としっかり繋がって、宮崎に住む外国人の方の心と体、どちらも温かくサポートできるような団体になれたらいいなと思いました。 ハーン